

多賀工業会 東京支部会報

2023年5月第26号



〈シルクロードのオアシス鳴沙山〉

茨城大学工学部同窓会・多賀工業会東京支部

たがびと つながる、多賀人

支部長 佐藤 将彦 (昭43 学子)



多賀工業会東京支部の皆様には、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。日頃より支部の運営にご理解・ご支援を賜り、心からお礼申し上げます。

私は、昨年6月の支部総会(表決)にて、支部長を拝命した者です。型通りでございますが、略歴を紹介させていただきます。

昭和20(1945)年6月、実は現在のロシア領サハリン(樺太)で生まれました。物心つかない頃、家族に手を引かれ、福島県と隣接する茨城県北部の北茨城市(五浦海岸の六角堂がある所)に引揚げてきて、福島県いわき市(旧は平市だった)磐城高等学校を昭和39年に卒業のあと、茨城大学工学部電子工学科を昭和43年3月に卒業(1期生)しました。大学では水戸・水哉寮に1年、日立・吼洋寮に2年半入っていました。卒研は、半導体分野のテーマでした。

以降、高度成長期の陰りが見えてきた時代に、第一就職会社は当時弱電大手の日本電気株式会社(NEC)に入社し、インテリジェント端末・ワープロ・パソコンの開発・信頼性品質管理・インフォメーションセンター及び保守会社管理、ビッグロブ事業などを経て、平成17(2005)年7月定年退社(その間、新潟県柏崎の工場出向、中国上海に赴任の経験あり)、その後3年ほど第二就職会社の検索エンジン会社に役員勤めをし、現在は、車検電子装置製造の中小企業で食客として名を連ねる中、地域(八王子市)の環境保全ボランティア(主に地球温暖化防止、最近では気候変動・気候危機対策などと呼んでいる)活動などの真似事にいそしんでいます。

支部には、会社時代に覚えたゴルフを、幅広い方々とやりたいという、単純な気持ちだけで同期の仲間に誘われ、当支部に入会、はや11年になろうとしております。

我が国の社会構造・現象に連動してか、当支部も年々、年会費納入者減少、会員の高齢化と活動参加者の固定化が進み、かつ3年に及ぼうとしているコロナ禍で支部活動が衰退していることは否めません。

この間、6年前に、「収支改善プロジェクト」を当時の小林一支部長、故森田幹事長、幹事会の皆様と推し進め、ここ5年連続、低水準ですが収支黒字で財政状況はますますなもの、いかんせん、結果はシュリンクして、上述の通りです。あがき、もがいていますが苦しんではいません。

掲題の「つながる、多賀人」の「多賀人」は全く聞き及んだことがなかろうかと思いますが、端的に我われ、茨大工学部同窓生をさす、当方の造語です。縁あって、多賀の日立・成沢の学び舎で学業などに一緒に励んだ?かけがいのない青春の時間を過ごした同胞を表したつもりです。この同窓の縁を大切に、卒業後の「居場所」の一つとして是非、支部活動に参加していただきたいと期待します。各位のスタンスで結構ですから、そして「つながる」の、ちょっとだけの意志により、「同窓の集まり」を「つないでいく」ことに意義をもっただけかもしれませんでしょうか?

そこで、「帰属意識」に訴えたいです。多賀の地でのことがともすれば、遠い過去になっていってしまい薄れがちですが、是非思い起こしてほしいです。そして、コロナ後の「新しい常識」の支部をコロナ前の活動水準にまずは戻し、次に後輩共々、「楽しめる」会になるよう、力を貸していただけませんか?

一昨年度女子会が実施したアンケートの有志による詳細の「分析・提言タスクフォース」活動の結果によれば、「アルムナイ(卒業生)ネットワークの活発化」がすべてとか、さてもと。。

当支部入会はもちろんのこと、幹事会・同好会(女子会あり)などに入られて、及び事務局活動などを手伝っていただくとありがたいです。門戸は四方八方開いているつもりですが。。特に若い方たちの力を借りたいと、幹事会・ホームページなどで勧誘など呼びかけています?が、じり貧状態です。前号でも「お願い事」としてご挨拶にて発信しましたが、反応は少なかったです。しかし、芽は出てきつつあり。。

引続き、多賀工業会本部とは賛助会員へのアプローチによる会員増活動で連携し、近隣支部の動向もウオッチしながら、進めていくつもりでおります。是非、皆様のご協力・ご支援の程宜しく願います。

最後に、支部会員の皆様のご活躍と、ご健勝を祈念申し上げます。



懐かしい学び舎の正門前光景



「同窓の集い」の懇親会の様子

2023年 第26号 目次

挨拶	つながる、 ^{たがびと} 多賀人	佐藤 将彦	1
報告	第26号目次、表紙写真説明	事務局	2
	2023年度(第43回)同窓の集い・総会開催のご案内	事務局	3
	2023年度東京支部総会議案	事務局	3
	2022年度東京支部会計(決算)報告	佐藤 将彦	4
	2023年度東京支部会計(予算)(案)	佐藤 将彦	5
随筆	十七音の詠嘆	大塚 進	6
	生涯現役を目指す	鈴木 幹夫	8
	教員生活を振り返って	池畑 隆	9
	マイブーム<夢はストリートピアノ演奏>	加藤 邦治	10
	私が見た新興国ミャンマー	佐藤 勇	11
同好会活動	囲碁部	田中 栄太郎	12
	ゴルフ部	佐藤 将彦	13
	山遊会	青野 潔	14
	写真部	小林 渡	15
	女子会	太田 悦子	17
	テニス部	村上 宗久	18
報告	「アンケート分析・提言 タスクフォース」	松田 実	19
会則	多賀工業会東京支部会則	事務局	20
お知らせ	HP編集室より・編集後記	張 立業・小澤 喜宏	21
	2022年度会費納入者・寄付者名簿	佐藤 将彦	22
協賛広告	ジュン・ホーム、いすゞ電機工業所、大協印刷		裏表紙

表紙の写真：<シルクロードのオアシス鳴沙山> 撮影地：中国鳴沙山（2016年6月）

坏 弘（昭37学機）



現役時代には十数回中国に来ていたが、当時時間的に行けなかったウルムチ、トルハンまで行くツアーに参加した。ウイグル族の件でクローズアップされているウルムチは600万人の大都市、市内ではアラビア文字と漢字が併記されウイグル族が虐げられているといった感じは無かった。

このツアーでウルムチを視た後はトルハンだったから、旅券を見せ中国新幹線の復路立ち寄った敦煌近くの鳴沙山に行った。それほどの風は吹いていなかったが、舞い上がった砂塵が太陽を月のようにしオアシスの上で周囲の幻想さを醸していた。

本掲載写真 撮影者 坏 弘氏は2023年2月7日逝去、遺作となりました。

2023年度(第43回)多賀工業会東京支部「同窓の集い」ご案内

1. 日時 2023年6月17日(土) 午後0時30分から
 2. 場所 アルカディア市ヶ谷 (右図参照)
 東京都千代田区九段北 4-2-25
 電話 03-3261-9921 (代表)
 交通: JR市ヶ谷駅(中央線)下車徒歩3分
 地下鉄市ヶ谷駅(有楽町線、南北線、
 都営新宿線のA1出口)



3. 会費 8,000円(当日受付にて申し受けます)
 女子会員は4,000円とします。
 4. 総会 午後0時30分~午後0時50分
 5. 懇親会 午後0時50分~午後3時00分まで
 6. 写真展 総会の会場内に展示します。[一般会員の方からの出展を歓迎します。陳列の都合上
 事前に写真部連絡窓口(16ページ参照)の小林 渡までメールで連絡下さい。]
 7. お願い ①出欠のご返事は5月28日(日)までに同封のハガキにてお願いします。
 今回の総会での議案に対しては書面表決とさせて頂くことで、上記出欠連絡ハガキにて
 賛否のご連絡をお願い致します。
 ②出席連絡後予定変更で欠席となる場合は、6月10日(土)までに連絡をお願いします。
 それ以降の欠席には会費のキャンセル料を頂くことになります。
 また、出欠にかかわらず、お手数でも同封のゆうちょ銀行払込取扱票にて、年会費2,000円
 を払い込みいただけるようお願い申し上げます。
 8. お問い合わせ先
 佐藤 将彦(昭43 学子) TEL: 090-8819-7305 E-Mail: mke-sato@mud.biglobe.ne.jp

2023年度(第43回) 多賀工業会 東京支部 総会議案(書面表決)

下記議案を支部会則第5章第10条により、書面採決での書面議決を行なわせていただきます。

1号議案 2022年度決算報告並びに2023年度予算案

内容は、本会報26号の4、5ページに掲載してあります。

なお、支部会則第6章第16条により、当日の総会では詳細の報告は省略予定です。

2号議案 2022年度事業報告並びに2023年度計画

内容は、本会報26号に掲載の2022決算報告及び2023年度予算案の摘要欄並びに各同好会活動報告
 に記してあります。

2023年度の活動はコロナ鎮静化動向を見定めつつ、「復活再開」計画・遂行が一大テーマに
 なるものと思っています。

昨年度の支部総会は未実施でしたので、議案表決の結果を下表のとおり報告いたします。

議案	賛成	反対	無効
1号議案 支部長人事 新支部長 佐藤将彦(昭43 学子)	102	0	3
2号議案 2021年度決算報告、及び2022年度予算案	102	0	3

*無効3の内訳: 記載不良1、締切日後着2

2022年度 多賀工業会 東京支部 会計（決算）報告

2022年1月1日～2022年12月31日

収入の部

(単位：円)

費 目	予 算	実 績	予 算 差	摘 要
年会費	290,000	280,000	-10,000	140口(99名)
本部援助金	88,200	88,200	0	
同窓の集い会費他	0	3,460	3,460	「同窓の集い」はコロナ禍で中止、他は雑収入(3,460円)
広告料	45,000	45,000	0	3件
寄付・利息	50,000	50,002	2	寄付(50,000円) 利息(2円)
収入の部 計	473,200	466,662	-6,538	
繰越金	1,066,687	1,066,687	0	
合 計	1,539,887	1,533,349	-6,538	

支出の部

費 目	予 算	実 績	予 算 差	摘 要
同窓の集い会費	30,000	7,722	-22,278	コロナ禍で中止(本部との合同総会中止、支部総会は書面表決)
総会場・懇親会費	0	0	0	
その他諸費用	30,000	7,722	-22,278	
会報費	266,331	279,503	13,172	A4版24頁全カラー：450部 作成
印刷会社発注費	254,331	265,980	11,649	印刷費(170,500円)、発送費その他(95,480円)
編集雑費	12,000	13,523	1,523	
会議費	30,000	9,805	-20,195	実幹事会・事務局会議、会報編集会議各1回
交通費	25,000	10,002	-14,998	会議活動などに連動
本部・支部総会参加交通費	10,000	0	-10,000	
一般交通費	15,000	10,002	-4,998	
交流費	80,000	67,251	-12,749	コロナ禍で4支部総会中止
本部・支部総会参加会費	20,000	10,000	-10,000	埼玉支部総会に参列
同好会援助	50,000	40,000	-10,000	囲碁部、ゴルフ部、写真部、山遊会の4部
雑費	10,000	17,251	7,251	
振込み費	18,000	16,784	-1,216	
支出の部 計	449,331	391,067	-58,264	
繰越金	1,090,556	1,142,282	51,726	三菱UFJ 272,695円 ゆうちょ銀 833,938円 現金 35,649円
合 計	1,539,887	1,533,349	-6,538	

以上の通り、報告致します。
2023年 1月27日

会計幹事 佐藤 将彦(昭43学卒) 印
(実押印省略、以下同じ)

監査の結果、上記に相違ないことを認めます。
2023年 2月10日

会計監事 田中栄太郎(昭40学卒) 印
会計監事 青野 潔(昭41学卒) 印

2023年度 多賀工業会 東京支部 会計（予算）（案）

2023年1月1日～2023年12月31日

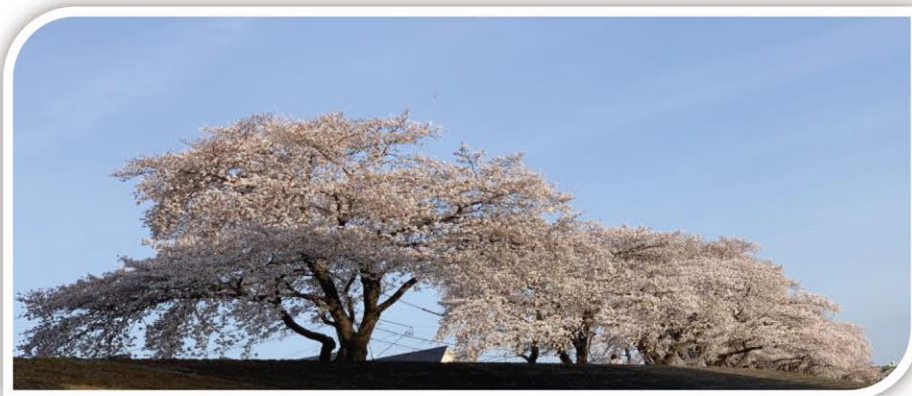
収入の部

（単位：円）

費目	予算	前年度実績差	摘要
年会費	280,000	0	140口（前年度実績参考）
本部援助金	88,200	0	前年度同額
同窓の集い会費	490,000	486,540	60名
広告料	45,000	0	3件
寄付・利息	50,000	-2	前年度予算並み
収入の部計	953,200	486,538	
繰越金	1,142,282	75,595	
合計	2,095,482	562,133	

支出の部

費目	予算	前年度実績差	摘要
同窓の集い会費	430,000	422,278	コロナ対策（社会的・物理的距離確保など）を実施して開催
総会場・懇親会費	410,000	410,000	60名
その他諸費用	20,000	12,278	
会報費	279,560	57	前年度踏襲（A4版・24頁以下・全カラー；450部 作成）
印刷会社発注費	269,560	3,580	印刷費（170,500円）、発送費その他（99,060円）
編集雑費	10,000	-3,523	
会議費	35,000	25,195	
交通費	30,000	19,998	
本部・支部総会参加交通費	10,000	10,000	5支部総会参加予定
一般交通費	20,000	9,998	
交流費	130,000	62,749	
本部・支部総会参加会費	50,000	40,000	5支部総会参加予定
同好会援助	60,000	20,000	5同好会・女子会
雑費	20,000	2,749	
振込み費	20,000	3,216	前年度実績並み
支出の部計	924,560	533,493	
繰越金	1,170,922	28,640	
合計	2,095,482	562,133	



北浅川（八王子市）の土手桜

十七音の詠嘆

大塚 進(昭 38 学化)

1. はじめに



当工業会会報誌には場違いかも知れませんが、投稿のお薦めがありましたので気の向くままに書いてみました。

今、俳句に嵌まっています。実は退職と同時に定住地と決めた横須賀市浦賀は小生にとって全

く新しい土地でしたので、地元への足場固めの為、還暦野球チームに入り活動を楽しんで来ました。



振り返りますと、所属の横須賀シニアクラブと言うチームを知ったのは、地元紙の記事でした。神奈川県大会(春秋)で三連覇した強力チームで、その直後でしたので、びびりながら監督さんに入部をお願いしたらいとも簡単に受けてくれました。チームの目標は毎年全国大会出場で、その練習は、これが高齢者の野球かと疑うほどのものでした。一番若いので体力には負けないと頑張った結果、何とももろく崩れました。先輩達は体が出来ているので、ハードな練習にも負けないが、若さ故の張り切りだけではダメでした。怪我も

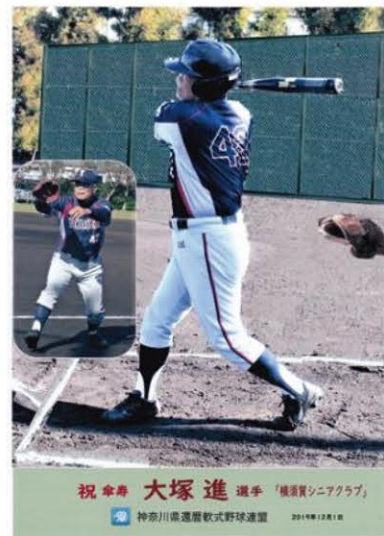


神還連古希大会優勝；表彰式@秦野球場

度々、段々馴れて漸くチームメイトになれた感じでした。今までに全国大会(全日本還暦軟式野球選手権大会)で優勝、又全国選抜大会で優勝と輝かしい戦果を上げています。それには日頃の凄まじい練習があります。週三日の練習はかなりのもので、そんな状況です

のでカレンダーは「野球ファースト」でした。年齢と共に還暦の部(60歳~)、古希の部(70歳~)、グランド古希の部(75歳~)、そして今は傘寿の部(80歳~)で野球を楽しんでいます。そんなことから球で遊ぶ子供として俳号を「遊球子」と付けました。

俳句の伝道師と自称する夏井いつき先生がメディアに登場して久しくなりますが、俳句は今や国民的文芸と言われるほど普及の感があります。小生も変わらず、たった十七音の短形詩にのめり込んで左脳を刺激しています。新聞(読賣、神奈川)の俳句欄の隅に時々名前が出ることもあり、それを張り合いとして俳句を詠み続けています。毎週朝刊の俳句欄を見るのを楽しみにしています。落胆と欲びに一喜一憂しています。まるで新聞に載る入試合合格発表欄を覗くようです。



2. 俳句との出会いとこれまでの活動

さて、そもそも私の俳句との出会いは小学生の頃だったと記憶しています。鮎釣りが好きで父と釣りに行った時、そう簡単には鮎はかからないよと言われたことを思い出します。鮎の母が小鮎達に美味い蚯蚓があっても急いで食べちゃ行けないと諭していると言うのです。それを「蚯蚓には棘があるよと鮎の母」と俳句ともつかぬような五七五で父が言ったことを思い出します。棘とはつまり釣り鉤のことです。学校では芭蕉、一茶そして子規の俳句を国語で習いましたがさほど興味も無くやり過ごしていました。

時も流れて定年退職して、これから如何過ごそうか
 思いめぐらしていた頃、地元ミニコミ紙の俳句欄に目
 が止まり、俳句は五七五で季語を入れて詠む位の事し
 か分からぬままに、ひやかし半分で投稿して見ました。
 なんと末席に入選してビックリしました。何度か投稿
 しているうちに選者の先生から句会を紹介され、真面
 目に俳句を学ぶことになりました。会社のOB会の活
 動にも俳句会があり先輩の指導を受けながら俳句作
 りの活動をしています。どちらの句会も結社ではなく
 主宰する先生もいないので、正に句会の合評談が先生
 です。そこで自分の未熟さに愕然として、独学ではあ
 りますが有名な先生の教本を読みながら漸く俳句と
 言うものの輪郭が掴めるようになりました。



クラス会@湯島天神にて

俳句の辞書とも言える歳時記があります。そこには
 一年を春夏秋冬とそして新年の五つに分けて、その季
 節の中には時候・天文・地理・生活・行事・動物・植物の
 季語が纏められています。その季語を詠まれた先人の
 例句が掲載されています。それをボロボロになるくら
 い読むうちに視界が広がり、自分自身の日常生活の中
 で色々な事象場面に遭遇し感動したことなどメモし
 て俳句を作る時のネタにしています。それを五七五に
 詠み、気に入らない句はどんどん捨てていきます。俳
 句ではこれを多作多捨と言って良い句を作ろうと労
 作するより句作のハードルを下げて気楽に句作りに
 取り組む事が良いと教えられています。

やがて他流試合の積もりで新聞の俳壇に投稿して、
 著明な選者の先生を師と仰ぎ投句をするようになりました。
 時々入選し、末席でも多くの投稿者の中から
 選ばれたと言う事で、選者に自分の句が評価されたの
 だと有頂天になります。毎週見られるご常連さんの足
 もとには及びませんが向上心が掻き立てられ、八十余

歳の今からでも伸び代はあると信じて、これからも挑
 戦し続けて行きます。

また、旅先でその土地にゆかりの著明な俳人の句碑
 に出合うことはこれ又旅の楽しみで俳句を詠む気持
 ちを一層掻き立ててくれます。

3. 入選句

これまでの入選拙句を紹介します。

〈 読売新聞：読売俳壇 〉

矢島 渚男選	燻れる辺野古沖繩慰霊の日
宇多喜代子選	風貌の浮ぶ癖字や年賀状
正木ゆう子選	秋高し山羊の短きビブラート
小澤 實選	踏切のなかなか開かぬ薄暑かな

〈 読売新聞：よみうり文芸 〉

能村 研三選	富士斜め風いつぱいのヨットの帆
辻 桃子選	傾けてまた掻き分けて尊舟
鈴木 貞雄選	によきによきと高層ビルや雲の峰
岡田 日郎選	柿すだれ軒につらなり旧街道
小檜山繁子選	みちのくの無念の御霊百ちどり
榎本 好宏選	掛け替へる菓子舗ののれん蓬餅
石田 郷子選	冬晴や朝の体操背伸びから
上田日差し選	永き日や河馬にもらひし大欠伸

〈 神奈川新聞：イマカナ俳壇 〉

星野 椿選	新蕎麦や戸隠行きのバスを待つ
松尾 隆信選	虫の闇永き単身赴任かな
復本 一郎選	するめ鳥賊回転干しの撒く匂ひ

著者プロフィール

- ・昭和 38 年：工業化学科卒業
出光興産（株）入社
- ・平成 11 年：出光興産（株）定年退職
- ・趣味：野 球（横須賀シニアクラブ所属）
俳 句（地元及び会社 OB 会の句会
に参加）
郷土史（横須賀開国史研究会所属）

生涯現役を目指す

鈴木 幹夫（昭 48 院子）

1. はじめに



コロナ禍が久しく、社会に疲弊の波が収まらず、苦渋が続いています。私にかかわっている同窓会もことごとく延期に次ぐ延期となっております。同僚が健康であらんと祈ります。

私事になりますが、一昨年、本多賀工業会東京支部の幹事のメンバーになり、編集の役となりました。さらには新参加者としての初仕事というわけでもないでしょうが、本投稿の執筆を命じられ、重い腰をあげ、走らない筆を執りました。

ここでは、私の紹介も兼ねサラリーマン時代の一部を振り返りつつ、現在の会社経営と多賀工業会の行く末を案じ意見を述べさせていただきます。

2. NTT 時代での楽しい研究生生活

昭和 48 年に NTT に入社し、三鷹にある研究所に配属されました。研究対象としてはいくつかあるのですが、最大の楽しい思い出としては、データ通信の研究部で暗号の研究（拡大ガロア体上の公開鍵暗号方式など）をしていたことです。当時暗号の研究者は世界で 2000 人位、日本では 200 名ほどであった。だから、自分が研究していることが、世界の最先端の研究をしているということで興奮を覚え、熱心に研究に集中しました。海外の学会でも先端に行く研究者と論じるのは楽しいものです。諸兄の中にも同感する方もいるかと思えます。

暗号の最近の話題の一つに量子暗号があります。今でも私個人的に研究を続けています。発想の一つは、コンピュータでも表現できない領域での演算を対象にした暗号方式が編み出せないか思案しています。まだ、結論が出ていませんが、楽しいものです。

また、電子マネーの研究も実用化の研究として充実したものでした。日銀との共同研究や、NTT 電子マネー方式を海外に展開すべく海外を飛び回りました。

その後、2001 年に情報セキュリティや IC カード技術を基盤として数人で会社を設立し 20 年を経過、現在では宇宙・情報セキュリティ・システム開発などを手掛けております。本稿の掲題にあるように生涯現役を目指して努力することを社員や後進に示すことを

モットーとして続けております。

例えば、情報セキュリティの専門家としての国際資格 CISSP (Certified Information System Security Professional) の受験に挑戦しています。本試験は英語の 4 択問題 150 問を 4 時間で行います。4 時間も英語の問題に取り組むのはいわば、頭脳のマラソンのようです。頭脳は年齢とともに衰えるというのが通説ですが、鍛えればどんどん発達するのだと仮説をたてて実証しようと意気込んでいます。また、能力のない人間ほど努力する余地があり、亀の様に着実に進めることは幸せなのだ、自分に言い聞かせて励んでおります。

3. 幹事を引き受けて

先日、東京支部の幹事の方々の会合に初めて出席しました。会合での大きな課題は、若手が参加する仕組みづくりでした。この類の組織・会合での難問です。「若手に期待しよう」という発言が時々発せられています。自分も若手ではないが、この発言には注意すべきと自戒します。すなわち、この発言の裏には、年齢だからそろそろ引退したい、肉体的にも貢献できないという意味を含んでいると思います。肉体的なことや、個人的な事情を主張されれば、否定・強制はできません。それでも、「若手に期待しよう」という発言には説得力がないと思うのです。なぜなら自分の都合に偏重した主張だからでしょう（怒る人もいると思いますが）。

問題は、「どうして若者が参加しないか」という原因追及が必要なのでしょう。私自身も、就職した当初の 2 年位は東京支部の会合に出席したが、面白くなかった。以降、現在に至ってしまい、今度は幹事役を命じられたということです。

反省すべきは我々自らが招いた結果であるとも言えることです。解決すべきは、若者に何を提供できるかということでしょう。「若手に期待しよう」を禁句にして、若者に飛び込み生涯現役（掲題再掲）でいる我々の姿を示して共感を得ようでないかと思えます。

著者プロフィール

- ・昭和 48 年：現 NTT 武蔵野電気通信研究所
- ・平成 11 年：Gemplus 入社 IC カード
- ・平成 13 年～現在：イーバンテック株式会社設立
宇宙開発、システム開発、情報セキュリティ

教員生活を振り返って

池畑 隆 (昭52 学子)

1. はじめに



母校に30余年間勤務し、コロナ禍が始まる2020年3月に定年退職しました。あれから3年、やっとアフターコロナが見えてきました。そんな中、同窓生から貴支部会報への寄稿の依頼を受けました。現在これといって披露できる話もなく迷ったのですが、教員生活を振り返って思うことを書いてみようと考えました。ただし記憶が曖昧のところもあり、誤解があればご容赦ください。

2. 法人化で何が変わったか

2004年に国立大学が法人化され教職員は公務員でなくなりました。国の公務員削減の一環とも言えますが、学校運営の自由度を上げて教育研究の活性化を図る意図があったことも事実です。その影響は極めて大きく現在に至ります。功罪について私なりに考えてみました。まず功ですが、共同研究や地域連携の質・量が格段に増加したことは間違いありません。これには教員の働き方の自由度が増したことが大きいと思います。兼業など学外活動がしやすくなりました。また知財部門や共同研究推進部門が設置されました。結果として年間共同研究件数は法人化前の3倍、約190件に達しました。同時期、日経グローバル誌の「地域貢献度ランキング」で全国760大学中トップ10に入る勢いとなりました。また、共同研究の活発化は学生の教育に大きなプラス効果を生み出しました。これは改めて述べます。次に罪ですが、予算の逼迫です。効率化係数と称して毎年1%が減額されます。学校運営の自由度が増すので効率化で経費も減らせるとの論理です。従来、人件費は公務員給与として別枠で支給されましたが、法人化後は運営費交付金として一括支給になりました。社会の要請に応えるため、カリキュラムや学生サポートの充実など教育改善に多くのリソースを振り向けた結果、教員研究費は年々減少し、教員の補充もままならない状況がありました。よって科研費を含む競争的資金に頼らざるを得ず、プロポーザルの作成に多くの時間を割くことになりました。近年顕在化した研究力低下の遠因という研究者もいます。しかし直近では、様々な工夫により若手教員の採用を積極的に行い、教育研究のサステナビリティを改善する努力が行われている

と聞きます。

3. 共同研究と学生

法人化後の変化として、大学院生の共同研究への参加を挙げるができます。私も10社以上の企業と共同研究を行いました。その中の1社とは今も続いています。全ての共同研究で学生に参加してもらいました。戦力としてだけでなく、教育効果が大きいからです。共同研究では企業担当者との定期的な打ち合わせがありますので、データの整理、報告資料作成、プレゼンの準備などをタイムリーに行わねばなりません。当然遅刻などはありえません。さらに知財の関係で直ぐには公表できないデータも出てくるなど難しさがあります。よって、研究の目的や方法、上述の制約などについて一通り理解した上で立候補してもらいました。そのためか担当学生は責任感を持ってほぼ100%の対応をしてくれました。プレゼンや分担者との質疑を繰り返す中で学生はどんどん頼もしくなっていました。教員として大きな喜びでした。

4. 同窓会本部活動

母校に勤務する卒業生は学内幹事として総務、会計、会報、名簿の会務を分担します。退職前の数年間は幹事長として総会や75周年記念事業のお手伝いをさせていただきました。当時の課題は現役学生への支援と会収支の改善であったと思います。学生支援では、卒業式での優秀学生表彰(多賀工業会賞)、全卒業生への記念品贈呈、学生サークルへの活動資金援助、奨学金贈呈などを実施しました。また若手OBOGを招聘してのキャリア相談会などはタイムリーな企画で好評でした。こうした努力が同窓会に対する学生の認知度向上に寄与している実感がありました。一方、新入生の入会費納入率の低迷がしばらく会収支悪化の原因になっていましたが、最近大学の協力のもと手続きを改善したところ、納入率が大幅に改善しました。収支改善によって教育研究支援の強化が可能になるので、同窓会と工学部の連携が一層発展することを期待しています。

著者プロフィール

- ・1983年：工学部助手(電子工学科)
- ・2020年：定年退職(電気電子工学科、量子線科学専攻) 専門はプラズマ科学。知的財産・共同研究推進部門長として産学官金連携に従事。前多賀工業会幹事長
- ・現在：技術顧問、つくば市ボランティア、野菜栽培

マイブーム <夢はストリートピアノ演奏>

加藤 邦治(昭53 学子)

1. 学生時代：ギター弾き語り



人との出会いは偶然と必然が織り成すものと思っているが、楽器との出会いもそうであった。

3年過ごした日立の並木下宿には、電子科の同期が4人いた。その一人が音楽好きでギター弾きだったので、当時流行っていた小椋佳や井上陽水などフォークソングやポップスをよく一緒に歌った。ギターのアコースティックな響きに魅了され、自分もギターと楽譜を買い、友人指導の基、ギターの弾き語りは下宿生活でのマイブームとなった。4年生となり卒業をきっかけに、ギターのマイブームからも卒業となった。



2. 現役時代：尺八指南

木管楽器の音色は、温かみがあり好きだった。中学1年の音楽実技テストは、宮城道雄作曲の「春の海」をリコーダーで吹くことだった。しっかり練習したおかげで、教師からは吹奏楽部に勧誘されるほどテストの演奏は上出来であった。この原曲は箏と尺八の二重奏、尺八の音色がとても美しく、いつか尺八を吹いてみたいと思っていた。

社会人となり10年勤務した東京から東海村に転勤となった。数年経った頃、当時住んでいたアパートの真向いに位置する家の門柱に、「都山流尺八指南」の看板が掲げられた。何かの縁と指導のお願いに伺った。趣味で指南を取得した方で、まだ会社勤めの現役であったため、残念ながら丁重に断られてしまった。

しばらくして、水戸の大型書店で買い求めた尺八入門書を基に、練習用尺八とビデオ教材を通信販売で購入した。基礎が大事との信念から、入門書の著者で東京在住の尺八奏者の個人レッスンを受けることにした。講師の前で尺八を吹くなり、大きな金属やすりを取り

出し、尺八の顎当り部をゴリゴリ削り始めた。私のしゃくれ顎を見て、空気漏れをなくし音を出すための調整とのことで、とても驚いた。この時の指導を基に、週末自宅で多少練習は続けたが、レッスン先が東京であったことや、近所への尺八騒音に気を使い、マイブームは下火となった。いつかプロ並みになって全国ツアーするという夢は、ただの妄想であった。

3. リタイヤ後：ピアノ修行

リタイヤ1年前に尺八に再挑戦と思ったが、パンデミックの下、ピアノに方向転換した。ビートルズのレットイットビーを聴いた時、いつか弾きたいとの願望を思い出したのだ。ほこりを被っていた子供用キーボードを引っ張り出し、村の図書館で見つけた「ゼロから始められるピアノ入門書」を教本に練習を開始した。ヘッドフォンが使える、鍵盤のタッチが本物のピアノに近い電子ピアノを直ぐに欲しかったが、家族の許しが得られなかった。所詮ピアノのマイブームはすぐ終わるとの家族の見立てであった。半年ほど自主練を頑張った結果、たどたどしくも両手で弾けるようになり、リタイヤ直前に電子ピアノの購入許可が下りた。

今の自宅から徒歩3分の所に大手の音楽教室が数年前に開設していた。リタイヤ直後さっそく大人のピアノ教室に通い出した。自分の教本を使える、隔週での個人コースである。講師は4歳からピアノを始め44年弾いているとのことで、自分が講師に追い付くのに110歳まで弾き続ければギネスものかと馬鹿な事を思った。右手、左手、両手の順で曲を弾く練習をする
が、順に高くなる壁があり、まるで修行をする思いである。だが、少しずつ曲が弾けるようになる進歩の体感はとても快感である。YouTubeで視聴できるストリートピアノ演奏はどれも感動的だ。今はその夢を妄想に終わらせないよう、ピアノのマイブームは続行中である。



QRコードは、地元文化センターで定期的に開放のランドピアノで練習時のビデオアクセス先。

著者プロフィール

- ・昭和53年：日本電信電話公社（現NTT）入社
- ・平成18年：NTTエレクトロニクス入社
- ・令和1-4年：NTTエレクトロニクスコプロ
- ・趣味：ジョギング、ピアノ、家庭菜園

私が見た新興国ミャンマー

佐藤 勇 (昭 60 学電)



昭和 60 年入学の同期たちが還暦を迎える年となりました。コロナの影響もあり集まるのは厳しい状況でしたが、少人数で集まった時に同期の太田さんより依頼され、執筆することとなりました。さて何を？と思いましたが以前視察で行ったミャンマーのご紹介をしたいと思います。

1. ミャンマー入国

ミャンマーを訪れたのは 2014 年。2011 年の民主化から海外からの投資も活発になり、アジアのラスト・フロンティアとして注目される国だった。



ガイドブックなどの情報は少なく、事前情報が少ない中での訪問となった。

仕事の関係で出発が遅れ、現地合流となり、一人ヤンゴン国際空港に降り立った。空港からホテルに向かうタクシーの助手席には、運転手の友人らしき人がいたり、乗合バスの混雑を見て、新興国らしいスタートを感じた。(ちなみに料金はぼられていない(笑))



親日度も高いと言われており、道中には日本食レストランも複数見かけた。

翌日、パゴダ(寺院)を訪問では、偽者の僧侶がいるようで、お布施を強く要求されて高額を支払った視察メンバーもいた。

2. 現地記者の熱意



視察の一環で、現地の新聞社を訪問した。そこでは、33 歳の記者の自由を勝ち取るための強い思いに触れることができた。過去には報道内容が原因で拘束されたことも数度あるとのことだったが、“正しい判断をしていくことが重要”と熱く語り、報道という仕事に対しての強い覚悟と“若い自分

の話聞いてくれてありがとう”と素直に言う謙虚な姿に感銘を受けたことを、今でも鮮明に覚えている。

3. 飽くなき探求心



現地の優秀な学生たちとの交流会では、我々は質問攻めを受ける形となった。知識に対する貪欲さと日本への強い憧れを伝えてくれた。日本語も勉強中で将来は日本で働きたいという夢も語ってくれた。

4. 日本とつながる鉄道



学生たちの就職先としては船会社・運輸会社が多いということで、学生たちと共に鉄道のヤンゴン中央駅を訪問した。設備が老朽化しており一周 42km の環状線があるが、一周約 2.5~3 時間かかっていた(山手線は一周 34.5km で約 59 分なので、3 倍時間がかかる)。安全のため速度をあげられないのが要因だ。

この要因の一つである老朽化したレールの改善に対して、2013 年には、日本より円借款により整備が開始され、日本からも JR の人が現地メンバーへの技術指導の支援をしていた。

5. あれから約 10 年

2014 年とは情勢が異なっているようであるが、当時は国内線新空港や新工業団地の建設ラッシュだった。訪問当時から約 10 年が経とうとしているが、また訪れたいと思う国です。

著者プロフィール

- ・昭和 60 年：キヤノン株式会社入社
- ・趣味：旅行、ハイキング

囲碁部

部長 田中 栄太郎 (昭 40 学化)

現在、会員の登録者は、昭和 31 年卒の先輩から 46 年卒の方々までの 21 名で、棋力は八段から 4 級までいろいろです。

大会は年に 4 回で、2 月・5 月・11 月の第 2 土曜日と 8 月の第 1 土曜日に日本棋院市ヶ谷会場 (市ヶ谷駅から徒歩 2 分) で行います。

本大会には東京都をはじめ埼玉県、千葉県および神奈川県各地から遠路はるばる参加される方

方がおられます。また埼玉支部囲碁部との交流もあり、囲碁を通じての親睦を深めています。

囲碁に関心のある方は卒業年代にかかわらず多数の参加者を歓迎します。

連絡窓口

部長：田中 栄太郎

TEL：0466-82-4988

西暦 2022 年度の大会入賞者は以下のとおりです。

なお、当年度はコロナ禍の影響で、2 月と 8 月の大会予定を中止しました。

大会	開催日	優勝	準優勝	三位	四位	五位	参加者
8 2	2022 05-14	飯村三段 (機 43)	粕谷三段 (電 42)	白石二段 (電 42)	田中四段 (化 40)	山田六段 (電 42)	12 名
8 3	2022 11-12	飯村三段 (機 43)	門井四段 (化 44)	佐々木四段 (電 38)	粕谷三段 (電 42)	田中四段 (化 40)	13 名



対局風景 (第 83 回囲碁大会、日本棋院市ヶ谷)

会員の訃報

兼子八郎様 (学電 38) は令和 5 年 1 月 2 日に逝去されました。当部はもとより東京支部全域にわたりご活躍なされました。ご冥福をお祈りいたします。



ゴルフ部



コロナ終息
と健康祈願

部長 佐藤 将彦(昭43 学子)

令和4年度活動報告と令和5年度活動計画は次の通りです(氏名は敬称略及び、卒年の「昭」省略)。

1. 令和4年度第45回春季3支部合同コンペ

(幹事は埼玉支部)

- ・開催日：2022年3月25日(金)
- ・場所：坂東ゴルフクラブ
- ・参加者：9名(内、埼玉支部6名、千葉県支部1名、東京支部は、青野潔(41学化)、佐藤)。
- ・優勝：大武氏、2位：福田氏、3位：上田氏の全員、埼玉支部。残念ながら、東京支部の青野氏は4位、佐藤は6位(しかし、DC、NP各1と奮闘)でした。
- ・競技方法：埼玉支部持ちハンディ+新ペリア方式(初参加者)



2. 令和3年度 四支部(旧五支部改め)懇親コンペの代替コンペ

(幹事 埼玉支部)

例年、6月開催の懇親コンペでしたが、コロナ緊急事態宣言下であり、昨年に引き続き、「中止」。水戸勝田支部の退会で本懇親コンペは以降、開催取りやめと相成りました。

- ・開催日：2022年6月3日(金)
- ・場所：フレンドシップカントリークラブ
- ・参加者：10名(内、埼玉支部7名、千葉県支部1名、東京支部は、青野氏、佐藤)。
- ・優勝：青野氏(東京)、2位：富田氏(千葉県)、3位：大武氏(埼玉)。佐藤は定位置?の6位(しかし、NP2ケ獲得)でした。
- ・競技方法：埼玉支部持ちハンディ方式。



3. 令和4年度第47回 秋季3支部合同コンペ

(幹事 東京支部)

- ・開催日：令和4年9月30日(金)
- ・場所：紫カントリークラブあやめコース
- ・参加者：11名(内、埼玉支部5名、千葉県支部3名、東京支部3名)。以下、東京支部参加者は、富田瑞穂(41学機)、青野潔、佐藤の3名!
- ・優勝：青野氏(東京)、2位：岡部氏(埼玉)、3位：なんと佐藤(東京)。富田氏はBBに終わりました。しかし、全員入賞。
- ・競技方法：新ペリア方式。



4. 令和4年度第48回 年末3支部合同コンペ

(幹事 東京支部が代行)

- ・開催日：令和4年12月2日(金)
- ・場所：紫カントリークラブあやめコース
- ・参加者：11名(内、埼玉支部5名、千葉県支部3名、東京支部は、富田瑞穂、佐伯豊(54学子)、佐藤の3名)。
- ・優勝：富田氏(東京)、2位：佐伯氏(東京)、3位：大武(埼玉)。
- ・競技方法：新ペリア方式
- ・その他：初参加の佐伯氏(BG93)が躍動!



5. 令和5年度計画

(1) 3/10(金) 第49回

春の3支部合同コンペ(幹事埼玉支部)

- ・場所 リバーサイドフェニックス CC

(2) 9月下旬~10月上旬 第50回記念大会

秋の3支部合同コンペ(幹事東京支部)

- ・場所 紫カントリークラブあやめコース

(3) 11月~12月 第51回

年末3支部合同コンペ(幹事千葉県支部)

- ・場所 未定

入会受付中、コンペのスポット参加大歓迎!

連絡窓口 部長：佐藤将彦 090-8819-7305

副部長：西岡周二 0299-59-2983

山遊会

会長 青野 潔(昭41学化)

新型コロナ対応で、活動を休止致しております。
会報誌に載せる記事を思案致しましたが、手元に残っている資料により、2003年に会を発足して以来の活動を纏めてみました。

	実施日	行先	参加人数
1	2003/5/28	発足	
2	2004/3/14	日の出山と吉野梅郷	11
3	2004/7/10	蓼科車山	9
4	2004/9/12	丹沢山塔が岳	5
5	不明	弘法山	9
6	2005/4/9	金時山花見	9
7	2005/5/29	檜洞丸	7
8	2005/7/9	雲取山	8
9	2005/9/17,19	尾瀬ヶ原	13
10	2006/2/18,19	天城山	15
11	2006/4/8	陣馬山	8
12	2006/6/4	大菩薩峠	11
13	2006/7/29,30	会津駒ヶ岳	8
14	2006/10/6,7	磐梯山	9
15	2006 秋	奥多摩	10
16	2007/2/17	大野山	12
17	2007/4/14	御前山	7
18	2007/7/12	編笠山	7
19	2007 秋	高尾山	17
20	2008/3/15	鍋割山	9
21	2008/4/19	守屋山	7
22	2008/6/21,22	四阿山	7
23	2009/3/7,8	沼津アルプス	15
24	2009/5/2	鋸山	12
25	2009/7/19,20	至仏山	7
26	2009/10/22,23	箱根明神岳	6
27	2010/2/6	宝登山	12
28	2010/4/3	秩父方面	5
29	2010/5/29,30	丹沢山	5

	実施日	行先	参加人数
30	2010/7/10	霧降高原	3
31	2010/11/21	高川山	8
32	2010/12/24	高尾山(ダイヤモンド富士)	10
33	2011 春	高鈴山を計画したが、東日本大震災のため中止	
34	2011/8/16	御岳山	3
35	2011/9/23	巾着田	7
36	2011/10/21	石割山	6
37	2011/11/23	払沢滝	3
38	2011/12/11	鎌倉天園	5
39	2012/4/7,8	高鈴山	10
40	2012/8/23	美ヶ原高原	3
41	2013/3/30	総持寺・三ツ池	4
42	2013/6/17	経ヶ岳	5
43	2013/7/27	蓼科山	4
44	2013/9/23	大山	5
45	2013/11/5	武甲山	6
46	2013/12/4	鎌倉天園	6
47	2014/2/20	幕山	5
48	2014/12/22	多摩川ハイク	5
49	2015/2/23	曾我梅林	7
50	2015/5/31	筑波山	6
51	2016/3/27	三浦海岸	9
52	2016/10/23	西沢溪谷	7
53	2017/5/24	弘法山	6
54	2017/11/25	東京下町ハイク	7
55	2018/2/24	小石川植物園	3
56	2018/5/24	大楠山	6
57	2018/12/15	泉岳寺	8

以上です。2019年以降、活動休止状態ですが、コロナ騒ぎが収まってきたら、近間から計画したいと思います。

写真部

部長 小林 渡 (昭38学電)

多賀いちょう写真部は新型コロナ影響の中初夏の撮影会を開催、こうがく祭「写真・絵画展」に出展、秋の撮影会には埼玉ワンダーフォトクラブ企画の合同撮影会「大宮盆栽村と氷川神社」を実施しました。また外部活動は主として埼玉、神奈川の写真コンテスト、写真展に積極的に参加相応の実績を上げております。以下報告します。

1. 初夏の撮影会

5月20日(金)「東大本郷キャンパス・旧岩崎邸を訪ねる」と題した撮影会を実施しました。平成23年、28年に続いて3回目です。旧岩崎邸は岩崎弥太郎の長男で三菱第三代目社長久彌の本邸として造られました。特に洋館はジョサイア・コンドルの設計により完成した17世紀の英国のジャコビアン様式に見事な装飾が施されております。



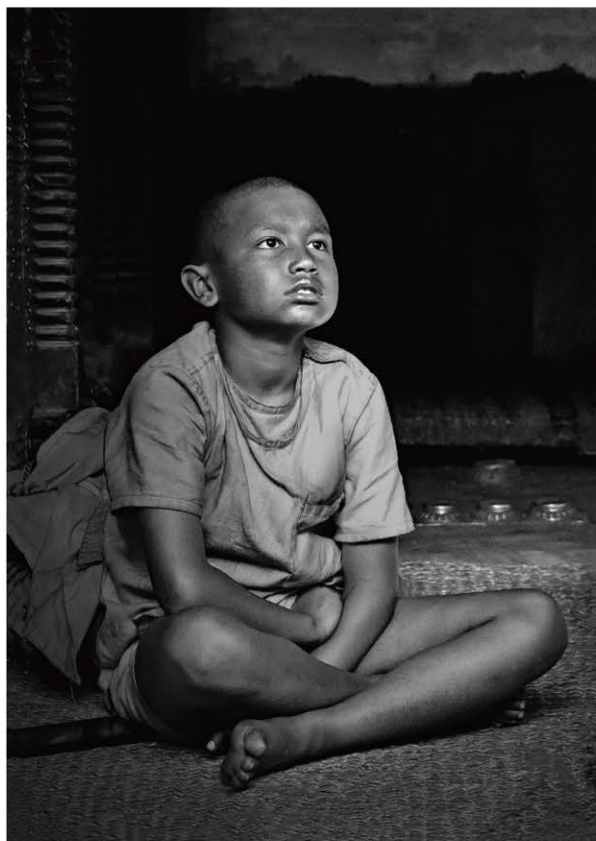
<参加者 旧岩崎邸前>

2. こうがく祭

11月5日(土)実施しました。多賀工業会本部「写真・絵画展」開催しました。東京写真部5名、10点出展、他に短歌集1名初めて出展しました。抜粋して5点掲載します。



<大物ゲット 山崎 慎一郎 (昭31学原)>



<少年僧 小林 渡 (昭38学電)>



<夕暮れ 坏 弘 (昭 37 学機) >



<巡礼道の紅葉 田中 栄太郎 (昭 40 学化) >



<落としたあ～黒澤 郁雄 (昭 45 学精) >

3. 秋の撮影会

11月16日(水)「大宮盆栽村と氷川神社」と題して埼玉支部と合同で実施しました。

大宮盆栽村は関東大震災を機に東京の盆栽業者が大宮に移転して開かれたものです。



<参加者 大宮盆栽村>

4. 会員の主な活動状況

- ・第6回(2022.9)フォトコンテスト神奈川写真展
自由部門特選 小林 渡
- ・第70回記念埼玉県美術展覧会 入選 高橋 伸二
- ・第39回埼玉県写真サロン 出展 高橋 伸二
- ・第21回全日本モノクロ写真展 入選 小林 渡
- ・第20回さいたま市美術展覧会 入選 高橋 伸二
- ・第67回(2022)全神奈川写真サロン公募展
入選 小林 渡
- ・第37回私が見つけた埼玉の自然フォトコンテスト
入選 高橋 伸二

5. 会員の訃報

坏 弘氏(昭37学機)は2023年2月7日逝去されました。氏は豊富な海外旅行の写真はもとより優れた文章力で東京支部会報の随筆を数多く投稿、発展に尽力されました。又IHI会社時代プレス社の海外案件でロシア、ニュージーランド、アメリカ、中国、インド、チェコに長期滞在、特にGM、フォードの導入には多大な貢献しました。尚第26号東京支部会報表紙写真遺作となりました。

6. 入会の案内

連絡窓口

小林 渡 E-mail : koba-wt@nifty.com

黒澤 郁雄 E-mail : 8my66@bma.biglobe.ne.jp

以上

女子会

女子会会長

太田（旧姓野原）悦子（昭60学電）



いつも東京支部女子会にご支援ご協力をいただき、ありがとうございます。

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？ここまで長く活動制限が続くとは予想もしておりませんでした、い

つのまにか数年も過ぎてしまい、現在は突然日常が戻ってきた印象です。

昨年の会報で2022年秋の活動再開を願っておりましたが、原稿を執筆している2023年2月現在も、残念ながら活動は休止中です。

このような状況でしたが、ご意見をお寄せくださった皆様、ありがとうございました。

1：活動の再開について

数年に及び活動を停止しておりましたが、2023年度は活動再開をしたいと思います。ただ、様々なご意見もあると存じますので、まずは、6月17日の同窓の集いを、皆様と再会し今後についてご意見をお聞かせいただく機会としたいと考えております。

ぜひ、東京支部同窓の集いへの参加をご検討くださいませ。

2：今後の予定と活動内容について

数年にもわたる活動制限を経て、オンラインで人と関係を持つことが、当たり前になっています。オンラインの授業だけでなく、入社式やお稽古、飲み会までも特別なことではなくなりました。

外出しなくてもコミュニケーションが可能であることは、多忙な世代には魅力的です。このような、オンライン交流も取り入れつつ、いままでのオフライン（対面）での活動を含め、ゆっくと様々な活動を試す1年目となれば幸いです。

3：女子会のミニ歴史

女子会が出来た経緯について、過去の会報でお知らせしたことがございますが、今回簡単にご紹介したいと思います。

元々、私自身は同窓会に参加しておらず、あまり興味も必要性も感じていなかったというのが正直なところでした。ただ、あるきっかけで、東京支部の幹事の方から、「女性の工学部在校生や卒業生が増えているのに、男性ばかりの同窓会では参加しにくいから、何か受け皿となるのが欲しい。」と、お声がけいただきました。

私には新しい会を引っ張っていくような力もアイデアもなく会長の重責はとても迷いましたが、自身の娘が理系学部へ進学したことで、若い卒業生の何かお手伝いになれば、という思いもありお受けしました。その後は、多くの方のお力添えで同好会の形になり、同窓生や女子会のメンバー皆様のご協力で小さな会ですが、存続しています。

会への参加は、ご都合よい時だけ1度だけでも、去年は参加だけど今年不参加というような不定期でも、全く問題ありません。今後ですが、一度途切れたご縁をまた作っていくこと、より多くの方が参加しやすい会であるように皆様と柔軟に検討していくことが課題だと考えております。

まずは、6月17日土曜日の「同窓の集い」で、お会いしましょう！！
お待ちしております。

（女子会へのご連絡は、以下からも可能です）



テニス部

部長 村上 宗久 (昭 48 学機)

前部長の山本 (昭 42) の脊柱管狭窄症悪化により村上が部長となり山本が副部長として助言する体制とした。

2022 年度は、コロナ禍により部活動を実行するかどうかを悩む状況でした。

●2020 年度の活動実績

「コロナ禍」による感染を防止する為、下記の活動計画は「中止」とした。

1. 2022 年 5 月下旬：春季練習会
(小金井公園)
2. 2022 年 9 月下旬：茨城大学・福島大学との
テニス部OB交流会
(那須スポーツパーク)
3. 2022 年 11 月中旬：茨城大学テニス部
OB・現役交流会
(茨城大学水戸キャンパス)
4. 2022 年 11 月下旬：秋季練習会
(小金井公園)

部員はコロナ禍の中、随時メールで情報交換すると共に、住んでいる地域でテニスクラブやテニスサークルで練習に取り組み地域の試合に出て研鑽し技術向上や体力維持に取り組んだ。

河上 (昭 38) と岡本 (昭 48) は地域の同じテニスサークルに参加し交流を深めた。

2023 年に入りコロナ禍が鎮静化しつつする中、臨時で「OB・現役交流会」が実施されることになった。

5. 2023 年 2 月 23 日：茨城大学テニス部
OB・現役交流会
この交流会に東京支部から村上 (昭 48) と松本 (昭 56) が参加した。
開催要項は
・開催場所：茨城大学水戸キャンパステニスコート
・スケジュール 10:00 集合
10:30~16:00 試合
(途中 12:00~13:30 昼食)
・試合形式 OB と現役で 8 名程度のチームを 6 チーム作りチーム戦を行った。

参加した 2 名。



村上 (昭 48)



松本 (昭 56)



OB・現役交流会集合写真

●2023 年度の活動計画

コロナ禍が終息するかどうかは不明ですが、部員一同健康維持に努め技術研鑽を行い、感染防止しながら下記の開催を予定している。

1. 2023 年 5 月下旬：春季練習会
(小金井公園)
2. 2023 年 9 月下旬：茨城大学・福島大学との
テニス部OB交流会
(那須スポーツパーク)
3. 2023 年 11 月中旬：茨城大学テニス部
OB・現役交流会
(茨城大学水戸キャンパス)
4. 2023 年 11 月下旬：秋季練習会
(小金井公園)

個人レベルでは、森永 (昭 36) と小室 (昭 36) がペアを組んで毎日テニス選手権の 85 歳以上のクラスに挑戦する予定。

●入会受付中！ 練習会参加大歓迎します。

連絡窓口

部長：村上宗久 m-murakami@hi-ho.ne.jp
副部長：山本 蕃 qq7b2e3d@eco.ocn.ne.jp

「アンケート分析・提言 タスクフォース」活動報告

松田 実 (昭 50 学子)

1. はじめに



昨年 9 月頃佐藤支部長より東京
支部アンケート結果の分析・提言タ
スクフォースの立ち上げに参加の依
頼がありました。

2. アンケート分析・提言タスクフォースの立ち上げ

10 月 5 日までに次の 7 人でタスクフォースを発足
し、12 月末までに提言をまとめることとなりました
(敬称略)。

田中栄太郎 (昭 40 学化)、佐藤将彦 (昭 43 学子)
松田 実 (昭 50 学子)、佐伯 豊 (昭 54 学子)
川村 澄 (昭 54 院子)、若松洋治 (昭 57 学金)
太田悦子 (昭 60 学電)

3. タスクフォースの目的及び活動

タスクフォースの目的として「アンケート結果を、
タテヨコ斜めに分析して、「施策レベル」に利活用して
今後の支部活動・体制などに反映したい」と佐藤支部
長より示されました。

メンバーを二班に分け、A 班は「総会・支部全体の
こと」、B 班は「HP・広報に関すること」を分担し、電
子メールを活用して意見を交換することとしました。
いくつか意見・提言を頂き、プレゼン形式 (PowerPoint)
と報告書型式 (Word) にまとめました。

この二つについては支部 HP で閲覧できます。

4. タスクフォースの提言

アンケートでは若年層の活用、ホームページの改善、
情報発信改善など意見があり、こうした意見・提言に
基づき支部活動の現状・問題点をまとめたのが次図で
す。

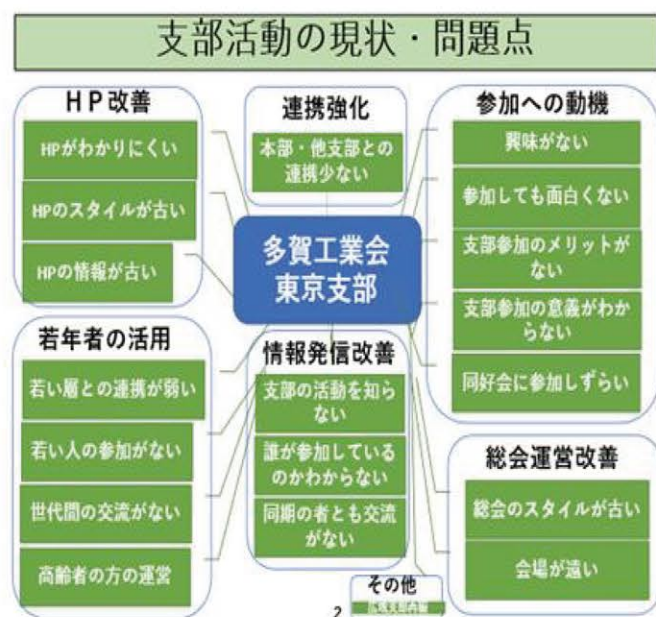


図. 支部活動の現状・問題点

今回のタスクフォースではいかに若者層を取り込
んでいくのかなど、より具体的な施策を提言するよう
努めました。

提言の一つとしてホームページを若者層にアピー
ルする内容にする。例えば動画の採用、卒業間もな
い若手の会員からの話題提供、連続した企画ものな
どです。またホームページをより多くの会員の目に
触れる工夫が必要で、例えば twitter などの SNS を
活用することがあります。

その他の多くの提言については支部 HP に掲載され
ている報告書を参照願います。

今回のタスクフォースの提言を幹事会などで検討
を進め、同窓会組織の発展にいくらかでもお役に立
てれば幸いです。

筆者プロフィール

- ・1977 年 4 月日本電気株式会社入社
主にマイコンの企画・開発・製造に従事
- ・2008 年早期定年退職
- ・現在まで 行政書士として活動
主に遺言・相続・家族信託相談等に従事

多賀工業会東京支部会則

(令和2年7月18日改訂)

第1章 総則

第1条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。但し、会計に関する事項については、支部事務所を会計幹事宅に置くことができる。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共励共助
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目的達成のための必要と認める事項

第3章 会員

第4条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

第4章 役員

第5条 本会は次の役員を置く。

支部長 1名、副支部長 若干名
幹事長 1名、幹事 若干名
会計幹事 1名、会計監事 2名
会報編集室長 1名、ホームページ編集室長 1名
名簿編纂室長 1名
同好会会長又は部長 各1名、顧問 若干名

第6条 役員は、次の方法によって定める。

支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。支部長以外は、支部長が推薦し、幹事会の承認を得て支部長が委託するものとする。但し、同好会の会長又は部長は同好会会員の互選によるものとする。

第7条 役員の仕事は、次の通りである。

支部長 本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。
副支部長 支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。
幹事長 幹事の業務を統括し、その運営にあたる。
幹事 会務に必要な事項を審議し決定する。
会計幹事 本会の収支、及び会計を担当する。
会計監事 会計を監査し総会で報告する。
会報編集室長・ホームページ編集室長・名簿編纂室長 各担当業務を執行する。
同好会幹事 同好会会長又は部長。その会を代表し自主的に会務を執行する。
顧問 支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第8条 役員の仕事は2年とし、重任を妨げない。

第5章 会議

第9条 支部総会は、原則として毎年1回開催する、但し、必要に応じて臨時支部総会を開くことができる。

第10条 支部総会は、次の事項について審議し、出席過半数の賛成で決議する。または、書面にて採決を行う書面議決で、書面表決書のうち、過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第11条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年2回(2、11月の第4土曜日)開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が日程変更、並びに臨時に招集し幹事会を開催できる。

第12条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の3分の2以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員の決定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

第6章 会計

第13条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第14条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第15条 本会の会計年度は、1月1日から翌年の12月31日までとする。

第16条 本会の収支は、会計担当幹事が担当し、会計監事が会計監査を行い総会に報告する。または、事前に書面などで告知されている場合は、報告を省略できる。

付則 本会則は、平成16年10月23日より施行する。平成30年7月14日に第5章第11条を変更した。令和2年7月18日に第10条、第16条を変更した。

細則規定

第1条 年会費は、2,000円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。

- (1) 但し、一旦納入の会費は返還しない。
- (2) 会計幹事は年会費の銀行預金口座、郵貯振込口座の管理をおこなう。

第2条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者。(但し、5年連続未納者には以降配布を停止することが出来る。)
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近3年間の卒業生
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部などの関係者

第3条 総会開催の案内は、会報に発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第2条の対象者以外にも広げて発送する。

第4条 慶弔規定は別途定める。

第5条 80歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第6条 幹事会に事務局を置き、幹事会の取りまとめを行う。

第7条 幹事長には副幹事長、会報編集室長・ホームページ編集室長・名簿編纂室長には副室長をおき職務を補佐する。

第8条 各同好会には副会長又は副部長を置き、会長又は部長を補佐する。

第9条 本規定の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成16年10月23日より施行する。

平成23年8月27日に第1条(2)追加、第2条

(1)修正、第6条を追加した。旧第6条は第7条とした。

平成27年2月に細則の第2、6、7条を修正した。

平成27年9月に細則の第8条を追加し、旧第8条は第9条とした。

HP 編集室より

HP 編集室長 張 立業(平 24 院精)

尊敬する皆様、私は張立業と申します。今回、大学の同窓会のホームページの編集室長として、皆様には有益な情報を提供できるよう尽力して参ります。

この役割を担うにあたり、まずは前 HP 編集室長黒澤様と佐藤幹事長様に対し、心より感謝を申し上げます。

先輩達の方から引き継いだ貴重なノウハウを生かし、今後も同窓会を発展させていくためにも、私たちは前任の方からのアドバイスを大切に、これまでの歴史や文化を継承していく決意です。

私自身は、システムの設計、開発に関する知識と経験を持ち、最新の技術を駆使して、皆様にとって魅力的で使いやすいホームページを作り上げることを目指しています。

同窓会に参加される方々が、学生時代の思い出を振り返り、新たな出会いや交流を楽しめるよう、心を込めて取り組んでまいります。

この素晴らしい同窓会の一員として、私たちは皆様にとって有意義な場を提供することができるよう、日々努めてまいります。引き続き、ご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

URL : <http://tokyo.tagakgk.com/>

編集後記

会報編集室長 小澤 喜宏(昭 53 学子)

会報編集室長を長くお勤めいただき、その後も編集室員を続けていただいていた兼子八郎氏が今年の1月2日に急逝されました。小生が随筆執筆者を探していた時に、「誰もいないなら私が書くよ」と助け船を出していただいたのが昨日のようです。ご家族で新年会をされ、お開きになった後倒れられ、戻らぬ人となられたとのこと。心からお悔やみ申し上げます。

今号も、執筆者の皆様から素晴らしい原稿が届き、また例年通り写真部からは表紙はじめ会報を飾る写真を送っていただきありがとうございました。ようやくコロナも落ち着きを見せ始め、今年は同好会活動なども活発になり次号の記事が増えることを期待しております。

会報編集室中に大変良いお知らせが届きました。今号に「十七音の詠嘆」を寄稿された大塚進(俳号:大塚遊球子)氏の入選句が「よみうり寸評」(右掲)に引用されました。素晴らしいですね!



<読売新聞 夕刊 2022年12月15日>

編集室員

小林 渡 (昭 38 学電) 藤枝 伸一 (昭 45 学子)
小澤 喜宏 (昭 53 学子) 加藤 邦治 (昭 53 学子)
鈴木 葉子 (昭 62 学化)

多賀工業会東京支部会報 【第 26 号】

発行 2023年5月1日
発行者 支部長 佐藤 将彦
〒193-0804 八王子市清川町 4-8
TEL 090-8819-7305

2022(令和4)年度 年会費納入者

(敬称略、順不同)

2023(令和5)年1月以降の納入分は、次年度の掲載となります。

氏名の後の○は本年度以降納入、又は既納分(前納)を、氏名の前の□は以前分納入(後納)を示し、中の数字はその年数を示します。

会費ご納入ありがとうございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕のうえ、ご連絡をお願いいたします。

また、これまでの未納分も受け付けています(後納扱い)。

連絡先: 会計幹事 佐藤 将彦

Tel: 090-8819-7305

E-mail: mke-sato@mud.biglobe.ne.jp

昭17専金 坪能 進	昭38学機 豊田 元雄	昭40学化 田中 栄太郎	昭44学化 齊藤 昭 ②	昭51学子 仁平 孝 ③
昭22専金 土屋 敏夫	昭38学機 中村 好秀	昭40学化 平山 隆司	昭44学精 菊地 政行	昭51学精 秋山 雅俊 ①
昭23専電 塩野 譲	昭38学機 長谷川 幸夫	昭40学精 大泉 雅靖	昭44学精 山口 良治	昭52院金 武藤 和望 ⑧
昭26専通 菊地 玲二 ②	昭38学電 ②今橋富美男	昭40学精 寺 紘一 ④	昭45学電 小滝 麟太郎	昭52院金 渡辺 隆
昭28学電 稲見 孝	昭38学電 内田 茂	昭41学機 高橋 伸二	昭45学電 永木 利夫	昭53学子 小澤 喜宏
昭28学電 橋本 久美	昭38学電 遠藤 喜久男	昭41学機 富田 瑞穂	昭45学電 吉田 通廣	昭53学子 加藤 邦治
昭29学原 奥野 眞治	昭38学電 兼子 八郎 ⑥	昭41学化 青野 潔	昭45学子 藤枝 伸一 ②	昭53学情 西部 俊憲
昭30学機 田口 忠夫	昭38学電 後藤 紀夫	昭41学化 岡本 實 ①	昭45学精 黒澤 郁雄	昭53学情 高木 利之
昭30学機 檜山 邦良	昭38学電 小林 渡	昭41学化 齊藤 保夫	昭46学電 飯塚 英一	昭54院子 川村 澄
昭30学電 木村 好延	昭38学電 坂野 栄	昭41学化 橋川 隆夫	昭46学電 加藤 昌男	昭54学子 佐伯 豊
昭31学原 山崎 慎一郎	昭38学電 佐々木登喜夫	昭41学化 矢島 勝司 ⑥	昭46学子 大崎 孝明 ②	昭54学化 星野 行雄
昭31学電 大内 孝	昭38学電 寺内 賢一	昭42学機 小森 廣樹	昭46学子 栗原 功幸	昭55院電 丸島 國義
昭31学電 藤川 俊明	昭38学電 橋本 政巳 ⑨	昭42学電 粕谷 利夫 ②	昭46学子 安田 健博 ①	昭55学精 ①二方甲子夫
昭32学原 矢野 睦男 ②	昭38学金 海老原 雄二	昭42学電 山田 恵規 ①	昭46学子 井村 豊	昭56院精 田中 克弘
昭32学電 山下 正明	昭38学化 大塚 進 ④	昭42学金 小園井 健	昭46学金 今富 久雄	昭56学機 峰村 勝幸 ④
昭36学機 上月 秀俊 ④	昭38学化 小田倉勝夫 ①	昭42学精 下ノ村 勇 ①	昭46学金 大井川 勝雄	昭57学機 松本 勝己
昭36学機 真下 知行 ⑤	昭38学化 白石 道彦	昭42学精 山本 蕃	昭47学機 西岡 周二 ⑨	昭57学金 若松 洋治
昭36学機 森永 隆宏	昭38学化 高木 二郎	昭43学機 遠藤 義和 ②	昭47学子 五十嵐 喜良 ⑦	昭58院子 土生 理 ①
昭36学機 横山 馨	昭38学化 矢部 功一 ①	昭43学機 藤沼 隆夫	昭48学精 小泉 幸範	昭58学機 有路 博 ①
昭36学電 飯村 卓郎 ②	昭38学精 磯部 亮	昭43学子 佐藤 将彦	昭48院子 鈴木 幹夫 ④	昭60学電 太田 悦子
昭36学電 小宅 仁 ②	昭38学精 ①市村敬司 ③	昭43学子 鈴木 弘道 ③	昭48学機 宮城 緑郎	昭60学電 田島 清至
昭37学機 宮澤 信夫	昭38学精 上野 武彦	昭43学子 角田 勇	昭48学機 村上 宗久	昭62学化 鈴木 葉子
昭37学電 佐藤 恭久	昭38学精 黒羽 昇	昭43学子 野崎 淳一 ⑩	昭48学電 佐藤 知康	平06院電・子 川村 敏雄 ③
昭37学電 西川 正登 ①	昭38学精 矢嶋 國男 ②	昭43学子 袴塚 邦彦 ④	昭48学化 駒坂 俊樹	平08院精工 山崎 真 ④
昭38学機 河上 弘一	昭39学電 塚本 文彦 ①	昭43学化 池上 毅	昭48学精 福島 良信	平08学電・子 生井澤 伸秋 ②
昭38学機 小林 一	昭39学金 入江 暢泰 ②	昭43学精 齊藤 央道 ②	昭49学電 ①坂本 淳	平09学都 藤井 貴弘 ②
昭38学機 駒場 方耀	昭40学電 手塚 勇夫 ①	昭44学子 石川 久 ③	昭49学精 田川 孝二 ①	平10学機 山本 夏江 ④
昭38学機 桜井 衛	昭40学電 山崎 輝行	昭44学子 野澤 敏矩 ②	昭50学子 松田 実 ⑦	平10学機 吉田 順子
昭38学機 丹下 宏	昭40学金 松本 二郎	昭44学子 吉田 真吾	昭50学精 岸添 義彦 ④	平24院情 張 立業 ③

合計 145名

(前納者、後納者を含みます)

2022(令和4)年度ご寄付者

(敬称略、順不同、単位は円)

昭28学金 赤城 清	2,000	昭42学電 森田 徹郎	10,000
昭36学機 上月 秀俊	8,000	昭55学精 二方甲子夫	1,000
昭38学電 今橋富美男	16,000	匿名希望(1名)	10,000
昭40学精 大泉 雅靖	3,000		

ご寄付ありがとうございました。

年会費納入のお願い!

皆様に納入して頂く年会費とご寄付が当支部の主な財源となっております。

◇ 『同窓の集い』に参加時、当日受付にて直接納入いただけます。

◇ その他の場合は、ご面倒でも同封の払込取扱票(*)にて、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口・ATMで、なるべく口座からの引落しでお願いいたします。現金での払い込みでは加算料金110円が発生します。(なお、払込料金そのものは支部負担となっております)。

(*) ご寄付の場合もこの用紙をお使いください。



(株)ジュン・ホーム
代表取締役 小沼 淳志
茨城大学工学部
卒化41年卒

Enjoy Our Life.



 JunHome
株式会社 ジュン・ホーム

(本社) 〒316-0003 日立市多賀町2-4-6/TEL: 0294-34-3000 (土・日・祝定休)
(展示場) 〒316-0036 日立市鮎川町6-3-1/TEL: 0294-38-2121 (※水曜定休)
建設業許可番号: 茨城県知事登録(特-27) 第19313号
一級建築士事務所: 登録A-0946号 宅建免許番号: 茨城県知事許可(10)3391号

<https://www.junhome.co.jp/>



ワイヤハーネス設計・製作

顧客の信頼を得て57年

有限会社 いすず電機工業所

営業品目: 少量多品種対応可

- ◇ワイヤハーネス設計・製作
- ◇各種ケーブル加工
- ◇組立配線

本社 日立市東金沢町4丁目-12-7

TEL 0294-36-6835

FAX 0294-35-2505

ホームページ <https://www.isuzudenki.com/>

代表取締役 小宅 仁 (昭36学電卒)



私たち大協印刷は、

印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。

ぜひ一度ご相談ください。



大協印刷株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東2-4-14
TEL: 03-3837-5291 / FAX: 03-3837-5293 E-mail: info@daikyo-print.co.jp

<http://www.daikyo-print.co.jp>

